

人づくりまちづくり研修会②

【趣旨】津山教育事務所管内の各市町村社会教育委員及び生涯学習・社会教育関係職員等が一堂に会し、講演及び情報交換等を通して、これらの市町村における生涯学習・社会教育の一層の推進を図る。

【日程】令和7年12月3日（水）13：30～16：00

【講演】「防災を通じた地域の絆づくり

～西日本豪雨災害から学んだこと～」

講師：川辺復興プロジェクトあるく
代表 槙原 聰美 氏

あの日、浸水した道を車で避難。事前の備えもなく、情報が少ない中で今思えば危険もあった。川辺地区の家屋はほぼ全壊。住民のほとんどが地域を離れざるを得なかった。

住民が集う場として被災3か月後に炊き出しを始めた。交流の場となった。支援物資の受け入れ、サロンの開催等、心の支援も大切にしてきた。地域の中で必要な情報を必要な時に得られるように20名で始めた地域LINEグループも、現在は600名を超えた。防災は地域の「つながり」が重要。



槙原聰美 氏 保育士・防災士
西日本豪雨で自宅が全壊。再建と並行して地域の支援活動を始め、現在も23人の「あるく」メンバーとまちづくりや地域防災に取り組まれている。

参加者の感想

- ・地域ぐるみで助け合う防災の重要性を再確認できた。特に「命が助かるだけでは十分でない」という言葉が印象に残った。
- ・あまり必要と思っていなかつた防災グッズの大切さが伝わってきた。近所の方とこれまで以上につながっておきたい。
- ・（地域の）LINEグループは素晴らしい取組。また、今まで思いもしなかったが、避難所にいる人の気持ちがわかった。
- ・災害が少ないと変な自信を持っていたが、今日のお話をいただき家族と防災について話し合い、備えを進めたい。
- ・つい7年前に起きたことなのに他人事にしてしまっている自分を猛省。槙原先生の言葉が心に響いた。

